

文12とよめ①り②けれ③ば、みな人、
乾飯の上に涙落として④ほとび
⑤にけり。

問一 傍線部①の「り」は完了の助動詞「たり」と同様、次の二つの意味を持つ。ここではどちらの意味で使われているか。

ア完了（くしてしまった・くた）

※くの瞬間に注目

イ存続（くている・くである）

※くの後の状態に注目

問二 傍線部②は過去の助動詞で、終止形は「けり」である。ここでは何形になっているか。なお、「けり」はラ変型で、「けら—○—けり—ける—けれ—○—」と活用する。

ア未然	イ連用	ウ終止	エ連体
才已然	カ命令		

文12とよめ^①り^②けれ^③ば、みな人、
乾飯の上に涙落として^④ほとび^⑤
にけり。

問三 傍線部③の「ば」は次の三つ
の訳を持つ。この場合はど
れ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文12とよめ①り②けれ③ば、④みな人、
乾飯の上に涙落として④ほとび
⑤にけり。

問四 傍線部④について

(一)終止形は「ほとぶ」(「潤
ぶ」)。適切な訳は次のどれか。

アふやける イ塩辛くなる
ウ食べられなくなる エはねる

(2)主語は次のどれか。

ア みな人 イ 乾飯 ウ 涙

文12とよめ^①り^②けれ^③ば、みな人、
乾飯の上に涙落として^④ほとび^⑤にけり。

問五

傍線部⑤のように、「にけり」とある場合は、だいたいの場合、「に」（完了の助動詞「ぬ」が活用したもの）＋「けり」（過去の助動詞）で、「うてしまった」と訳すが、傍線部⑤もこれだ。この「に」は完了の助動詞「ぬ」の何形か。（完了の助動詞「ぬ」はナ変型「な」に「ぬ」ぬる「ぬれ」で活用する。）

ア未然
才已然

イ連用
カ命令

ウ終止

エ連体

文12とよめ^①り^②けれ^③ば、みな人、
乾飯の上に涙落として^④ほとび^⑤
にけり。

問六 「唐衣…」の歌を聞いて、「みな人」が泣いたことをふまえるのとどちらの可能性が高いと言えるか。

ア都に恋しく思う人を残しているのは歌を詠んだ男だけだった。

イみな、都に恋しく思う人を残していた。

問七 「唐衣…」の歌と「乾飯の上に涙落としてほとびにけり」という表現に共通する特徴は次のどちらか。

ア悲しみをストレートに表現している。
イ悲しみを格調高く美しく表現している。

ウおかしさの中ににじむ悲しみを描いている。

このページは空白ページです